



歯から
元気!

カムカム

訪問歯科診療ニュース

「カムカム通信」は訪問歯科診療の普及をめざし、SOSデンティストより発行しています。

噛む噛む 通信

2017.09
Vol.

141

SOS DENTIST

発行 / SOSデンティスト
日本訪問歯科協会
〒101-0037
東京都千代田区神田西福田町4
ユニゾ神田西福田町ビル8階
TEL: 03 (5297) 5073
FAX: 03 (5294) 1150

通院困難な方の歯科に関するお問い合わせはこちらまで… ☎ 0120-099-505

かむかむ COME COME倶楽部

「介護老人保健施設 リハビリタウンくじ」(岩手県)では、「お口の健康相談会」などを通じて、歯医者さんと連携できる仕組みづくりができたことに大きな手応えを感じています。

口腔ケアに積極的に取り組める 仕組みができたことが収穫



介護老人保健施設
リハビリタウンくじ
給食科長・管理栄養士 / 障子口 豊さん

当施設は、「あまちゃん」で名を馳せた岩手県久慈市にある、定員が入所114床、通所リハビリテーション45人に加えて、訪問看護・訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所を有し、利用者の尊厳を尊重し、安心安全で質の高いサービスの提供を基本理念に地域の介護ニーズに幅広く対応している、複合型の介護老人保健施設です。

平成27年の介護報酬改定で経口維持加算が見直されたことに伴

心強い歯医者さんとの 連携体制

私たちも口腔ケアの重要性はわかっていたのですが、歯科の専門職がいなかったため、利用者様のお口の状態をきちんと把握しきれずにいました。そこで、「お口の健康相談会」を実施しました。年に1回、歯科医にお口の中をみていただく仕組みができたことは、とてもよいことです。

施設内では、これまで入れ歯のトラブルが多かったのですが、入れ歯が壊れても歯科医に連れて行くこともなかなかできず、手をこまねいてもどかしく感じていました。けれども、今では何かあったら、すぐに歯科医に相談ができます。歯が欠けたので診てほしい、入れ歯を新しく作ってほしいなど、いろいろな

声が寄せられるようになり、歯科医との連携がとれるようになったことは、とても心強く感じています。
お口の状態がよくなったことで、刻み食から通常食が食べられるようになった利用者様も何人かいらっしゃいます。

将来的には地域全体の 高齢者の健康に貢献したい

日本訪問歯科協会を介して歯科医との連携体制を構築できたことは大きな前進であり、結果として、口腔衛生管理体制加算や経口維持加算(Ⅰ)(Ⅱ)の算定ができるようになりました。看護・介護を始め多職種の人たちと「食事」や「口から食べる」という、積極的に考える雰囲気が出てきたことは大きな変化です。こうした仕組みがうまく回ることで、利用者様に対しても貢献することができそうです。

今はまだ手探りですが、今後は経口維持だけではなく、もっとさまざまな視点から取り組んで、地域包括ケアシステムの「口から食べる楽しみの支援の充実」へ発展させていくことが課題だと考えています。

まだ歯科との協力体制を築けていない施設があるのではないかと思えます。日本訪問歯科協会は歯科医療機関と介護保険施設との重要な橋渡し役になると考えております。

今日から始める、簡単お口のケア!

オーラルフレイル アドバイザー

オーラルフレイルって何?

英語で「オーラル」は「口腔」、「フレイル」は「虚弱」という意味で、「オーラルフレイル」とは口腔機能の衰えが全身の老化につながる、という考え方です。「口の衰え」は身体的、精神的、社会的な健康と大きな関わりを持っているのです。

オーラルフレイルはいくつかの段階を踏んで進行していきます。まず、口腔機能への関心が低下して、むし歯や歯周病などになり、歯が抜けたり痛みが出てきます。すると、口腔機能が低下して、会話や食事に不具合が出るようになります。食欲が低下したり、日常の活動範囲が狭くなったりします。噛む力や舌の筋力が衰えれば、食べる量も低下して、低栄養の状態になります。会話が減れば社会的に孤立していきます。さらに機能が低下すると、咀嚼や嚥下に障害が起これば、要介護の状態になってしまふこともあるのです。

次のような自覚症状があるときには、要注意です。

1. 奥歯でしっかりと噛めない
2. 噛むと痛みんだり不快感がある
3. 食べこぼしがある
4. むせやすい
5. 口が乾燥しやすいく
6. 滑舌が悪くなっている

1つでも当てはまったら、歯科を受診して、口腔ケアや口腔リハビリで改善しましょう。